

(件名)

浜岡原発 2 号機タービン建屋屋上で火災発生

(要旨)

2月21日(土) 中部電力浜岡原子力発電所において、定期検査のために停止作業を行っていた浜岡原発2号機のタービン建屋屋上で火災が発生、職員が消火器で消火した。

なお、放射能による環境への影響はなかった。

(概要)

1 経緯

- 1 1 : 2 6 発電機から冷却用の水素ガスの排出を開始
- 1 1 : 3 4 警備長がタービン建屋屋上から炎が上がるのを確認
- 1 1 : 3 5 水素の排出を停止
- 1 1 : 3 6 タービン建屋3階で火災報知機が作動、消防署に連絡
- 1 1 : 4 5 運転員が発電機冷却用水素排出管から火が出ていることを確認
- 1 1 : 5 3 消防が発電所に到着
- 1 1 : 5 7 発電所運転員が消火器2本で消火、鎮圧を確認
- 1 2 : 2 1 消防が鎮火を確認

現在、消防と警察で火災原因等を調査中。

2 県の対応

- 1 1 : 4 8 中部電力からの第1報を受信、関係職員を召集
- 1 2 : 1 0 テレメーターシステムによりモニタリングデータを確認、環境に異常がないことを確認
- 1 2 : 5 1 ~ 中部電力の通報内容にモニタリングデータの状況を付け加え、ファックスにより関係機関及び報道機関に連絡
- 1 3 : 1 0 現場を確認するため、原子力安全対策室職員1名を浜岡原発に派遣

(参考事項)

- 1 2号機発電機は2月21日(土)午前6時に、原子炉は11時08分に停止している。
- 2 浜岡発電所では今までに同様の事象が発生したことはない。